

# エコ新田「みらい」

発行元・ URL : <http://www7a.biglobe.ne.jp/~NITTA-MIRAI/>

## 《湧水地マップ『太田市新田地域の湧水地』を作成》

太田市新田地域は、国内でも有数の規模を誇る大間々扇状地に涵養された新田湧水群があり現在でも約30ヶ所で湧き出しています。この湧水群の、「矢太神水源・重殿水源」は、国指定史跡になっており、「妙参寺沼」は平成22年に農林水産省の「ため池百選」に選定され、また矢太神沼周辺と谷地池周辺が平成23年に『関東・水と緑のネットワーク拠点百選』に矢太神沼周辺が平成24年に環境省の『モニタリングサイト1000里地調査一般サイト』に選定される等、全国的にも注目されています。

しかし、現在では埋め立てられたり、湧出量が減ったり市民の関心が薄れるなど環境が悪化し、これによる周辺の生物多様性も損なわれつつあります。

「新田環境みらいの会」は、広く一般の方にもこのすばらしい湧水群を知ってもらうため『関東・水と緑のネットワーク拠点百選』の支援を頂き湧水地紹介のリーフレットを作成しました。



毎日新聞で紹介されました



湧水地の実態紹介

必要な方は下記事務局まで連絡頂ければご用意出来ます

## 《太田市産業環境フェスティバル》

- 主催 ・ 太田市産業環境フェスティバル実行委員会  
会場 ・ 太田市新田文化会館（エアリスアリーナ）  
日時 ・ 平成 25 年 11 月 10 日（日） 9 時～15 時



今年も太田市産業環境フェスティバルが、太田市新田文化会館（エアリスアリーナ）他にて、多くの企業・団体の協力で盛大に開催されました。「NPO 法人新田環境みらいの会」は例年通り、2 区画の展示場所を頂き参加致しました。

展示内容は日頃の活動状況を紹介致しました。

- I ・ 湧水地や河川の保全活動
- II ・ 景観の保全とゴミの削減活動
- III ・ 地球温暖化防止活動、ほか



今年は天候が心配されましたが、例年になくお客さんの出足が良く大変な盛況の会場に成りました。当会恒例の、世界に一つのマイバック作りコーナーでは、待ち席が出来る程で対応する係も大変でした。対象は中学生以下でしたが描かれた内容は、アニメキャラクター・花柄ほか熱心に描いていました。中にはお子様に任せずおかあさんが手を出す光景も見られたようです。クイズコーナーでは、展示物を確認しないと答えが解らず、みなさん楽しみながら回答を探していたようです。



今回も展示品には工夫が見られ、観覧を期待しましたが、例年並みと言う所でしょうか？なかには、ため池百選の展示に驚き、香川県の弘法大師が創った満濃池の話を出されたのにはビックリしました。また、景観ボランティアに興味を持っている人もいたようで、今後の活動が期待できます。

左側の写真は

- 上・NPO 法人新田環境みらいの会ブース・
- 中・「世界に一つの」マイバック作成コーナー
- 下・展示会場の説明対応された、みなさんです。



# 《平成 25 年度群馬県地域環境学習推進事業》

## 第 1 回「新田地域の湧水地の解説と見学会」

開催場所 綿打行政センター・平成 25 年 11 月 30 日（土）9 時～12 時

見学場所 矢太神沼 ⇒ 妙参寺沼 ⇒ 通木⇒谷地池・ドブゼキ・ほか

11 月 30 日 これ以上ないという小春日和の快晴の一日で、湧水地は紅葉に染まり散策するには最適の一日でした。参加者が若干少なかったのですが、湧水地では水が澄んでいてどこの湧水地でも錦鯉や小魚が気持ちよさそうに泳いでいました。新田地域では大間々扇状地に涵養された湧水群が散在しており、現在でも約 30 箇所で湧出が確認出来ています。昔から生活用水や、農業用水に利用され受け継がれてきた大切な水源を、今後も残し次世代の後々まで保全し残せる様な活動の一環として研修見学会が開催されました。



開催についての説明と、DVD による湧水地紹介



紅葉の千五郎池の見学中のみなさん



水と緑のネットワーク百選に認定された谷地池からドブゼキをのぞむ。



通木湧水所有者、廣瀬氏を囲んで参加者の記念写真

## 第 2 回「箱島湧水と草津体験アミューズメント」の見学会

日時 平成 25 年 12 月 7 日（土）8:00～17:00

場所 箱島湧水（東吾妻町）、草津体験アミューズメント（草津町）

12 月 7 日 前週に引き続き群馬県地域環境学習推進事業の第二回の「草津体験アミューズメントと箱島湧水の見学会」を実施した。

当日は太田市のご協力で太田市のバスを利用させて頂き、東吾妻町にある日本名水百選の「箱島湧水」を見学した後に「草津体験アミューズメント」で酸性河川の中和事業を勉強し自分で湯川の水の PH 測定や百年石作りを体験して来ました。

## 箱島湧水

環境省認定の日本名水百選の一つで樹齢 400 年もの大杉の根本から 1 日 3 万 t の水が湧き出しています。榛名湖から流れついたという戦国時代の「木部姫」の位牌が不動尊の中に納められているという伝説が残っています。



豊富な水量をほこる箱島湧水



箱島湧水の前で参加者の皆さん

## 草津体験アミューズメント

コンクリートをも溶かしてしまう酸性河川の中和事業を分かりやすく紹介するとともに、事業に関係のある草津谷（草津・六合村）の歴史・自然・文化・風土等も合わせて紹介する見学施設です。草津温泉に流れる酸性の水を観て・体験して・知ることができました。

百年石制作体験は石灰石にペンキで好みの絵や文字を描き、乾燥後、温泉に 2 日間つけると描いた部分が浮かび上がります。参加者全員が体験し記念品となりました。



中和前の湯川の流れ



中和後の湯川の流れ



百年石制作体験

## 参加者の感想

- ・箱島湧水は初めて見学しました。迫力ある水の流れ、大木が素晴らしい  
草津湯川の強酸性の川に石灰を毎年休む事無く流して中和させて一般の川に流れていること  
驚きました
- ・今日は天気も良く箱島湧水、草津環境体験アミューズメント、湯ばたけなど見学できたことが  
楽しかったです。
- ・箱島湧水の量や酸性の川を中和する事業は予想以上にすばらしかった。



## 《生品小学校土曜スクール》

### 《第3回》

日時 平成25年10月19日(土) 9時～11時

開催場所 生品行政センター

今回は天候も心配され、生品行政センター室内で、新田の歴史に関する紙芝居と、スライドを見て勉強会を行いました。休憩後、折り紙教室を実施しみなさんで楽しみました。



紙芝居を見ての勉強会



折り紙を楽しむ子供たち

### 《第4回》

日時 平成25年11月16日(土) 9時～11時

開催場所 太田市金山周辺(金山ガイダンス)

今年最後の生品小学校土曜スクールは、金山の自然観察と金山ガイダンスセンターの協力で金山城の勉強会が開催されました。七五三で賑わう太田呑龍様の菊花展を見学後、金山ハイキングコースで金山ガイダンスセンターまで自然観察会を行いました。金龍寺井戸を見ながら、草花やマツボックリを拾いながら、秋の紅葉と落ち葉を楽しみながら散策しました。ガイダンスセンターでは、金山城の歴史をスライドで勉強しました。

展示場では、金山に生息する、小鳥や、植物をのぞき窓から確認して楽しいスクールとなりました。



金龍寺井戸カメはいませんでしたか？



金山城のゆらいのスライド見学

## 《レジ袋使用に関する店頭啓発の実施》

主 催 群馬県環境アドバイザー連絡協議会  
実施 場所 Aコープブレイス店  
実 施 日 平成 25 年 10 月 29 日 (火) 14 時～16 時

群馬県環境アドバイザーに登録している会員の多い事から、「NPO 法人新田環境みらいの会」のみなさんによる、マイバック使用状況調査とアンケートを行いました。当日は群馬県環境政策課の担当者がのぼり旗とアンケート用紙を持って来て頂き、お客さんが落ち着いて買い物を出来る午後 2 時から 4 時までの、約 2 時間「Aコープブレイス店」の協力を頂いて実施しました。

買い物に来たお客さん「調査協力者」主な人の

- ・マイバック使用者・・・買い物の袋詰めが無く楽、時間の短縮が出来る、ポイントが楽しみ、他
- ・マイバックなしの人・・・品数が少ないので不使用・袋を再使用できる、ほか



東出入口付近での調査



駐車所付近での調査

## 《エアリス主催の公共施設周辺クリーン作戦参加》

日時 平成 25 年 10 月 5 日 (土) 6 時 30 分～7 時

エアリス主催による公共施設周辺のクリーン作戦が実施され、「NPO 法人新田環境みらいの会」では今年も行事参加させて頂きました。6 名の参加でしたが雨中の中頑張りました。

今年は今回で予定終了しましたが、また来年も参加をお願い致します。



回収集量も年々少なくなっています。



雨中の中参加され有難うございました。



## 《 E C O料理教室に参加》

主催 太田市東部県民局地球温暖化対策協議会  
開催場所 太田市宝泉行政センター  
開催日時 平成 25 年 10 月 15 日 (火) 11 時～  
講師 内山恵子先生 (環境カウンセラー)

地球温暖化対策セミナーの一環として、「エコクッキングおた」が開催され、新田環境みらいの会会員の小澤さんが参加されました。太田市の名産品 大和芋ほか野菜を使用して、「ECO な食材、ECO な食器、ECO な調理法で ECO にお片付け」をテーマにおいしい料理をたくさん作って頂いたようです。参加された小澤さん、料理使用の水で蛇口操作から始まり、普段の生活基準、調理の考え方が全くかわったという事でした。



上毛新聞より

上毛新聞掲載H25・10・18

E C O料理教室で新メニューに活躍中の小澤さん  
\*左から2人目

## 《みんなの環境フォーラム》 「群馬の水問題を考える」

主催 環境カウンセラー地域協議会 環境カウンセラーズぐんま  
日時 平成 25 年 10 月 19 日 (土) 13 : 30 ~ 16 : 00  
協賛 太田市環境政策課  
開催場所 綿打行政センター

第 I 部 基調講演 「私たちの暮らし方と水処理のかかわり」  
講師 桐生大学 高橋 淳子教授

第二部 パネルディスカッション「群馬の水を考える」  
コーディネーター 環境カウンセラー 内山 恵子氏 他、パネリスト 4 名

酒井会員がパネリストの一員として太田新田地域の水質、処理状況を検証いたしました。聴講者には、新田環境みらいの会会員も沢山参加され熱心に聴講しておりました。パネリストの問題点が、自然水のテーマから浄化水の問題と、水の役割の広さを感じる講習会でした。地球には水が有る事から生命体が誕生したようですが、95%が海水で淡水は、たったの 2.5%とか！ 人の体内には 2.3%の水分が有り、1 日 1 人で 2 3 0%を使用しているようです。現在では、水道の蛇口をひねれば水は出るものと軽く考えていますが、飲料水も井戸水からペットボトルと変わってきています。今は水は井戸に帰らず浄水路に集中し濁度問題を生じているのが事実です。水の大切さを改めて考える講習会でした。

## 《関東・水と緑のネットワーク拠点百選に係る講演会を聴講して》

開催日 平成 25 年 11 月 16 日(土) 14 時～16 時

場所 浦和市埼玉会館 主催 (公財)日本生態系協会、(一社)関東地域づくり協会

講師 桜美林大学名誉教授 三島次郎先生 演題「自然を大切に」

参加者 赤穂 俊作

### 講演要旨

自然を大切にするということは、単なる感情や愛護運動ではない。私たちの生活を含めて、価値観の転換が求められているのだということを意識すべきです。

生物的自然を愛し、生物との共存を考えるならば気味悪い虫でも、もう虫けら等と呼ばないで欲しい。これらも立派な野生動物なのです。また、道ばたの様々な植物も大切な緑です。もう雑草などと呼ばないで！

小さなことのようにであるが、こんな発想が地球と人類の未来を保障することにつながるのです。

《講演は以上の様な要旨でしたが、自然を守る・大切にすることの意義を改めて考えさせられた内容でした。》

## 《エコプロダクツ 2013 の見学報告》

日時 平成 25 年 12 月 14 日(土) 10 時～16 時

場所 東京ビッグサイト

主催 産業環境管理協会、日本経済新聞社

所感

- ・日本で最大の環境展示会で3日間の来場者は170万人(主催者発表)
- ・3年ぶりに見学をしましたが、前回と比べると大学やNPOの展示が増えていました。
- ・自然環境の保全では今回は森(木)が中心で水関係はあまり見当たりませんでした。
- ・NPOや大学の小さなブースから企業の大きなブースまで様々、環境活動・エコ技術をPRするブースや、小中学生がターゲットのブースなど、いろいろと工夫をしていました。
- ・多くのブースがクイズ形式で、取り組みに対する理解と、環境知識の提供を行っていました。
- ・企業ブースでは専門の説明員が細かな質問にも懇切丁寧に対応してくれました。
- ・環境教育という取り組みから2007年より会場見学ツアーが始まり私も参加しましたが、専門家が案内してくれますので効率的に見学できました。
- ・今年のエコプロダクツは12月11～13日に開催されますので皆さん一度見学してみたいか  
がでしょうか? (西村)



エコツアーの講師



子供を対象にした体験コーナー

会報「エコ新田みらい」の原稿、ご意見は西村理事長及び、広報担当まで連絡宜しくお願い致します。

広報担当 連絡先

椎名 美雄 「E-mail:shiina\_y@cameo.plala.or.jp」